

# 第4期事業報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日



一般社団法人日本観光自動車道協会

## はじめに

本資料は、一般社団法人日本観光自動車道協会（J T R A）の第4期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）事業計画に基づく事業実施結果についてご報告するものです。

J T R Aは、昭和31年に任意団体として発足以来60数年、自動車道の維持と発展のための意見交換の場としての活動に始まり、協会を取り巻く環境の変化に対応するため、平成30年12月に一般社団法人として設立登記を行ないました。第2期平成31年4月より本格的に業務を開始以来、丸3年が経過し第5期目の業務を実施しているところです。

前期第4期は、第3期に引き続き全国的に新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなかであって、理事会等で一堂に会することがかかないませんでした。ニューノーマルへの対応として会議場側のご好意もあり、会議場と会員各社をリモートで結ぶ新しい会議形式を確立して、活動を継続しているところです。

今期の大きな成果としては、第3期末の3月20日より6月20日まで開催した、関西圏7路線によるスタンプラリーイベントとフォトコンテストの試行が、コロナ禍の緊急事態宣言下にあつて大々的なプロモーションも打てない中、逆にニューノーマル時代に非接触型イベントとして受け入れられて、まずまずの参加者があったことです。今後のイベント全国展開に向けてのデータを得ることができました。

つぎに、(社)日本アセットマネジメント協会と締結した「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト」の業務協定に基づく実証実験プロジェクトが、コロナ禍で第4期の公募を断念しましたが、1事業者の要望によりテストケースとして1案件の実証実験を試行中です。今期以降の公募に向けたデータ収集をしているところです。

環境省と締結している「国立公園満喫プログラム」に基づく「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を令和7年12月31日まで協定を延長して、意見交換会等に参加しています。

アセットマネジメント推進委員会では、コロナ禍で第4期に実現しなかった協会としての点検要領や管理基準の策定と、維持管理従事者の技術研修制度を確立するよう、賛助会員の協力を得ながら引き続き進めていくこととしました。

第5期も、しばらくはコロナ禍が続くと思われませんが、引き続き感染症予防対策に留意しながら、会員各事業者の健全なる自動車道の維持と発展を目指して、アセットマネジメント推進委員会はアセット維持管理の協会スタンダード策定を、ツーリズム委員会は観光自動車道の観光資源の有効活用を図るべく活動いたします。

## 第4期事業報告目次

【第4期事業報告書】	1
(1) 法人の概況	1
1. 設立年月日	1
2. 定款に定める目的	1
3. 定款に定める事業内容	1
4. 所管官庁	1
5. 会員の状況	2
6. 主たる事業所	2
7. 役員等に関する事項	2
8. 職員に関する事項	2
(2) 事業の状況	4
1. 社員総会および理事会	4
2. 分科会	7
3. 事業内容	8
3. 1 日本国内の観光事情についての調査・研究	7
3. 2 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究	9
3. 3 前2号に関する行政諸官庁への意見具申	10
3. 4 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力	11
3. 5 自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝	11
3. 6 その他当法人の目的を達成するために必要な事業	12
4. その他事業（外部組織との交流他）	12
【第4期決算報告書】	13
貸借対照表	13
正味財産増減計算書	14
財務諸表に対する注記、附属証明書	15
監査報告書	16

## 【第4期事業報告書】

### (1) 法人の概況

#### 1. 設立年月日

昭和31年設立（旧有料道路協会）

平成30年12月3日（一般社団法人日本観光自動車道協会）

#### 2. 定款に定める目的

当法人は、自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、その目的に資するための事業を行う。

#### 3. 定款に定める事業内容

- ① 日本国内の観光事情についての調査・研究
- ② 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究
- ③ 前2号に関する行政諸官庁への意見具申
- ④ 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力
- ⑤ 自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝
- ⑥ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

#### 4. 所管官庁

国土交通省自動車局

所管部署：総務課企画室

#### 5. 会員の状況

会員種別	R3年3月31日 ①	入会 ②	退会 ③	差引 ②-③	R4年3月31日現在 ①+②-③
正会員	17	0	0	0	17
賛助会員	12	0	1	1	11
特別会員	0	0	0	0	0
計	29	0	1	1	28

#### 6. 主たる事業所

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目13番9号 GIRAC GINZA 8F bizcube

※2021年12月4日付けで移転

## 7. 役員等に関する事項

登記簿記載順

役職	氏名	区分	重要な兼職の状況
代表理事	中川 均		(株)白糸ハイランドウェイ 顧問
理事	秋月 清二	8月辞任	グランビスタホテル&リゾート(株) 取締役
	金田 利幸	6月重任	奥比叡参詣自動車道(株) 代表取締役社長
	櫻井 裕一	6月重任	東京高速道路(株) 取締役道路施設部長
	堀内 光一郎	6月重任	富士急行(株) 代表取締役社長
	谷口 篤	6月重任	芦有ドライブウェイ(株) 代表取締役社長
	鬼頭 研二	6月重任	伊豆箱根鉄道(株) 取締役上席執行役員
	松村 弘三		西山ドライブウェイ(株) 代表取締役社長
	石川 演洋		(株)プリンスホテル 一般自動車道 支配人
	鳥居 正彦	6月新任	三重県観光開発(株) 代表取締役社長
	仁賀 剛	6月新任	比叡山自動車道(株) 代表取締役社長
	小林 智彦	6月新任	近畿日本鉄道(株)鉄道本部企画統括部営業企画部長
監事	奥田 壮一		富士山麓電気鉄道(株) 取締役鉄道部長
顧問	鈴木 昭久		公益社団法人日本観光振興協会 副理事長
	小林 潔司		一般社団法人日本アセットマネジメント協会会長
	近藤 三津枝		有限会社パンコット代表取締役

※区分が空白は任期中につき非改選 令和4年3月31日現在

## 8. 職員に関する事項（令和4年3月31日現在）

職員数1名（非常勤）

財務経理業務委託先：時原会計株式会社

正会員 (17社)	
(株)札幌振興公社	富士急行(株)
(株)岩木スカイライン	三重県観光開発(株)
宮城交通(株)	奥比叡参詣自動車道(株)
(株)白糸ハイランドウェイ	比叡山自動車(株)
プリンスホテル(株)	西山ドライブウェイ(株)
東京高速道路(株)	近畿日本鉄道(株)
伊豆箱根鉄道(株)	新若草山自動車道(株)
芦ノ湖スカイライン(株)	芦有ドライブウェイ(株)
熱海インフラマネジメント合同会社	
賛助会員 (11社)	
(株)熊谷組	アイセイ(株)
(株)ガイアート	三井住友カード(株)
(株)オリエンタルコンサルタンツ	パシフィックコンサルタンツ(株)
国際航業(株)	八千代エンジニアリング(株)
(株)赤城商会	(株)アイ・エス・エス
スマートカルチャーゲートウェイ(株)	
特別会員 (0団体)	



## (2) 事業の状況

### 1. 社員総会および理事会

#### 1.1 社員総会

今期は定時社員総会を1回開催し、2議案について決議した。

第1回社員総会	日時	令和3年6月18日（金）14：00～
	場所	東京都港区高輪3-23-17品川センタービルディング A P 品川アネックス I ルーム Zoomミーティング併用
	出欠状況	1. 理事10名（出2、Web8） 2. 監事1名（Web1） 3. 正会員1名（出1） 4. 委任状4通 5. 事務局2名（出2） 6. 来賓：阿部自動車局総務課企画室長
	決議事項	1. 第3期 財務諸表承認の件 2. 理事9名選任の件
	報告事項	第3期事業報告の内容報告の件 第4期事業計画及び収支予算の件
	その他	講習会：「ドライブラリー2021春in関西」イベントの結果分析・報告、意見交換会

#### 1.2 理事会

今期は定時理事会を4回、臨時を1回開催し、全ての議案を決議した。

臨時理事会	日時	令和3年4月8日（木）
	場所	書面決議
	出欠状況	1. 理事10名 2. 監事2名
	決議事項	1. プレスリリース代行サービスの契約の件 可決

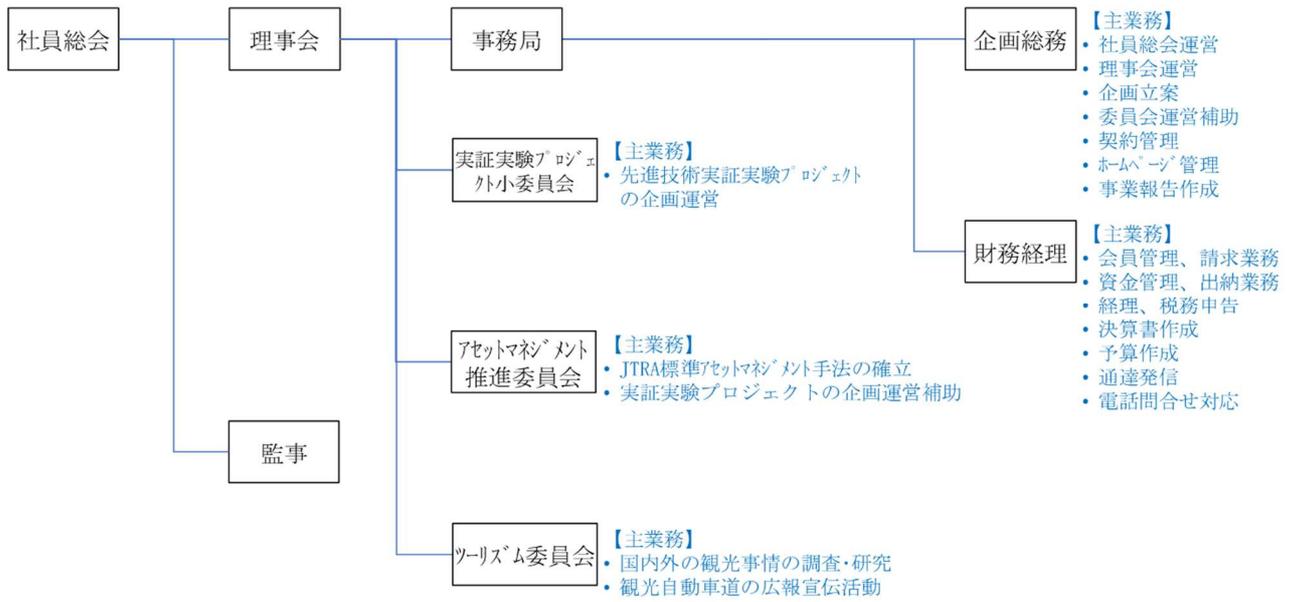
第1回理事会	日時	令和3年5月14日（金）14：00～
	場所	東京都港区高輪3-23-17品川センタービルディング A P 品川アネックスA+Bルーム Zoomミーティング併用
	出欠状況	1. 理事7名（出1、Web6） 2. 監事1名（Web1） 3. 正会員7名（出2、Web5） 4. 賛助会員6名（Web6） 5. 事務局2名（出2） 6. 来賓：平賀バス高速輸送システム推進官
	決議事項	1. 第3期事業報告、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書承認の件 2. 第3期定時社員総会招集の件
	報告事項	1. 臨時理事会書面決議の結果について
	その他	平賀推進官を交えた意見交換会 1. 消防活動のため使用する車両の通行料金の取扱 2. 国立公園整備補助金について 3. 改正民法の定型約款について

第2回理事会	日時	令和3年8月20日（金）14:00～17:00
	場所	東京都港区高輪3-23-17品川センタービルディング A P 品川アネックス A+Bルーム Zoomミーティング併用
	出欠状況	1. 理事8名（出1、Web7） 2. 監事1名（Web1） 3. 正会員5名（出2、Web3） 4. 賛助会員3名（Web3） 5. 事務局2名（出2） 6. 来賓：平賀バス高速輸送システム推進官 岡野環境省国立公園利用推進室長 横田CSJ社代表取締役
	決議事項	なし
	報告事項	1. ドライブラリー2021 春in 関西の結果について 2. 先端技術実証実験プロジェクト小委員会経過報告 3. 令和3年7月伊豆山土砂災害の経過報告 4. 湯河原パークウェイの一部路面崩落による通行止めについて
	その他	1. 研修会 講師：環境省自然公園局国立公園課国立公園利用推進室岡野室長「国立公園利用促進に関わる環境省の取組について」 講師：Camping with Soul Japan Ltd 代表取締役横田泰典氏「グランピングについて」

第3回理事会	日時	令和3年11月5日（金）14:00～17:00
	場所	東京都港区高輪3-23-17品川センタービルディング A P 品川アネックス A+Bルーム Zoomミーティング併用
	出欠状況	1. 理事9名（出6、Web3） 2. 監事1名（Web1） 3. 正会員6名（出3、Web3） 4. 賛助会員8名（出1、Web7） 5. 事務局2名（出2） 6. 来賓：平賀バス高速輸送システム推進官
	決議事項	1. 主たる事務所移転の件 2. 先端技術実証実験確認書締結の件
	報告事項	1. 熱海ビーチライン運営会社の変更について
	その他	料金徴収システム紹介 「ETCX」について：中日本高速道路(株) 高橋様他 研修会 講師：岩波光保東京工業大学環境・社会理工学院教授「インフラメンテナンスの将来像～観光自動車道の維持管理から考えられること」

第4回理事会	日時	令和4年2月4日（金）14:00～17:00
	場所	東京都港区高輪3-23-17品川センタービルディング A P 品川アネックス A+Bルーム Zoomミーティング併用
	出欠状況	1. 理事9名（出2、Web7） 2. 監事1名（Web1） 3. 正会員5名（出3、Web2） 4. 賛助会員3名（Web3） 5. 事務局2名（出2） 6. 来賓：平賀バス高速輸送システム推進官 鈴木日本観光振興協会副理事長
	決議事項	1. 第5期収支予算の件
	報告事項	1. 第4期予算執行状況と着地見込みについて 2. 第5期理事会・第4期社員総会の日程について
	その他	研修会 講師：鈴木昭久(公社)日本観光振興協会副理事長 「ウィズ/アフターコロナの観光」

【組織図】



## 2. 分科会

今期は、下記2委員会及び小委員会を組織し事業活動を展開した。

アセットマネジメント 推進委員会	役割	1. メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の確実な実施及び効率化、外部的な信頼構築に向けて、一般社団法人日本観光自動車道協会（以下、JTRAという）の標準的な様式（テンプレート）等の構築を図り、JTRAのアセットマネジメント手法を確立する。 2. 「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト」の企画運営を補助する。 3. 維持管理従事者のスキルアップを目指し、技術研修制度を確立する。		
	委員長	谷口篤	委員	11名
	活動	1. 協会標準要領類の策定 草案までは作成したが、コロナ禍で策定にはいたらなかった 2. 実証実験プロジェクトの準備・募集・運営・評価の支援 1事業者グループからの参加意向を受け、実証実験の施行を実施 3. 維持管理従事者の技術研修実施 コロナ禍で、カリキュラムの作成、実施ともにいたらなかった		
ツーリズム委員会	役割	1. 自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、日本国内外の観光事情について調査・研究する。 2. 自動車道利用者の安全性確保及び利便性の向上並びに自動車道と関連する観光資源の活用促進を目的とし、自動車道の総合的発展に資するための広報宣伝活動を行う。		
	委員長	小林智彦	委員	12名
	活動	1. 協会ウェブサイトの更新・多言語化、運営 多言語化実施事業者数 7/17社（-1社） 2. 観光関連団体との情報交換 ①ドライブラリー2021春in関西を、日観振の情報サイトに掲載 ②国立公園利用推進室長の講演 ③国立公園オフィシャルパートナー意見交換会 ④日観振副理事長の講演 3. イベントの企画・運営 ドライブラリー2021春in関西の開催（参加者379名） 4. ドライブラリーの全国展開に向けた分析		

観光自動車道アセット 先進技術実験プロジェ クト実行小委員会	役割	「観光自動車道アセット先進技術実験プロジェクト」の企画運営 1. 実証実験の募集 2. 実証実験参加事業者の選定 3. 実証実験フィールド提供事業者の選定 4. 実証実験結果の取りまとめと公表		
	委員長	中川均	副委員長	金田利幸、近藤三津枝顧問
	委員	仁賀剛、戸谷有一(JAAM)、事務局：幸野茂		
	活動	1. 実証実験プロジェクトの企画・運営 ※コロナ禍で活動を制限（今期の一般公募は見送り） 1事業者グループからの参加意向を受け、実証実験を実施		

### 3. 事業内容

#### ① 日本国内の観光事情についての調査・研究

環境省国立公園オフィシャルパートナー事務局および、公益社団法人日本観光振興協会（JTTA）との情報交換を通じて最新の観光動向を掴み協会の広報活動に繋げる活動を行った。

##### ① -1 環境省国立公園オフィシャルパートナー事務局との情報交換

環境省のキャンペーン「国立公園満喫プログラム」のオフィシャルパートナー事務局主催の2020年12月21日の意見交換会に参画し、国立公園の保全と利用の推進に向け、新たな連携創出につなげるための意見交換を、参加企業と環境省国立公園課、地方公園事務所職員とオンラインで行った。

###### ・第1回意見交換会（オンライン）

日時：2021年12月16日 出席：中川代表理事、幸野事務局長

議題：国立公園の魅力発信・誘客

内容：料金割引の可否の問合せ、イベントの訴求力として国立公園の活用

###### ・第2回意見交換会（オンライン）

日時：2022年3月3日 出席：中川代表理事、幸野事務局長

議題：国立公園の魅力発信・誘客

内容：国立公園と連携したスタンプラリーの実施

席上、ドライブラリー2021春in関西の試行には近畿地方環境事務所担当官と、四国事務所の担当官が関心を示し、今後の連携について個別に意見交換を行うことになった。

###### ・近畿地方環境事務所との意見交換会（オンライン）

日時：2022年4月21日

出席：国交省近畿地方環境事務所、〃四国事務所、本省国立公園課

近畿地区7社、中川代表理事、幸野事務局長

議題：国立公園と連携したスタンプラリーの実施

内容：スタンプラリー企画造成に関する質問に回答

環境省のスタンプラリーに連携はできないが、逆は可能

協会のスタンプラリーのチェックポイントに国立公園スポットを加える

スタンプラリーのマップに国立公園エリアを明示して欲しい

国定公園の管理者（県）との取り次ぎもできる

今後も連携に関する打ち合わせを継続

##### ①-2 日本観光振興協会との情報交換

・公益社団法人日本観光振興協会（JTTA）からのメールマガジンを会員各社へ配信し情報共有した。

- ・「ドライブラリー2021春in関西」開催にあたり、JTТАの一般向けウェブサイト  
に告知を掲載した。
- ・新春交流会に出席（コロナ禍で4月25日に延期）
- ・鈴木昭久副理事長（当協会顧問）を2月4日の理事会に講師としてお招きし、  
「ウィズ／アフターコロナの観光」と題して講演いただき、今後の観光需要の  
喚起策について意見交換を行った。

## ② 自動車道及び関連施設の長寿命化についての調査・研究

主にアセットマネジメント推進委員会の活動として、「JTRAインフラ点検要領  
（案）」の策定と発行、実証実験プロジェクトの企画・運営、維持管理従事者の  
スキルアップを目指した研修制度の導入と実施をする予定であったが、コロナ禍  
にあって具体的な編集作業に入れず、第5期へ持ち越しとなった。

### ②-1 協会独自のインフラ点検要領の策定

第3期に、定期点検1巡目の調査取りまとめを基に、法令と照らし合わせて  
「JTRAインフラ点検要領（案）」の策定までを行っている。これを元に、第5期に  
編集委員会を立ち上げ、「(仮称) JTRAインフラ維持管理ガイドライン」をリリー  
スする予定。

## ②-2 実証実験プロジェクトの企画・運営

第3期に、(一社)日本アセットマネジメント協会 (JAAM) との業務協定を基に、JAAMと共同で実証実験プロジェクトの「先進技術募集要領(案)」を策定し、参加希望企業に対して意向確認説明会を実施したが、コロナ禍で第4期中の一般公募は行わないこととした。

第4期に計画していた、比叡山ドライブウェイでのドライビングシアターやプロジェクトマッピングの実証実験も第5期持ち越しとなっている。

一般公募は実施しなかったが、1企業グループから実証実験の申し出があり、今後の本プロジェクトの進め方を探るための試行として、現在実施中である。以下、実行中の実証実験の概要である。

- ・ 実証実験名称：橋梁維持管理サポートシステム
- ・ 実施者：(株)IHIインフラシステム・(株)IHI
- ・ 対象路線：芦有ドライブウェイ
- ・ 実験概要：パノラマ画像やAI診断による健全性データ等を、一括管理可能なデータベースへ取り込み、点検業務の効率化やデータの一元化を図る

## ②-3 自然災害による被災現場の支援活動

「熱海市伊豆山土石流災害」をもたらした2021年7月1日から3日にかけての大雨により被災した熱海ビーチラインと湯河原パークウェイの復旧支援のため、正会員有志と建設コンサルタント系の賛助会員により現場視察を行った。

- ・ 日時：2021年11月25日 13～17時
- ・ 参加者：正会員6名、賛助会員4名

特に被害の大きかった湯河原パークウェイでは、災害発生のメカニズムや今後の対策について、建設コンサルタントの方から参考になる技術的なアドバイスが寄せられた。また、公的支援を受けるための対策についても広く意見交換した。

## ③ 前2号に関する行政諸官庁への意見具申

今期は、担当の平賀バス高速輸送システム推進官が理事会に毎回ご出席いただいたので、その都度質疑応答を含め下記のとおりご報告した。

- ・ 消防車両等緊急車両の通行料免除について  
現状は個別に対応、消防庁と国交省間で協定を結べないか
- ・ 民法改正に伴う供用約款（定型約款）の対応の要否について  
特別法が優先されるので問題はなさそうだが、危機管理上盛り込むのは可能

④ 自動車道に関する法令施行に当たっての行政諸官庁への協力

- ④-1 「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」の策定
- ④-2 自動車道事業者への各種調査依頼への回答

⑤ 自動車道の総合的發展に資するための広報宣伝

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各自動車道の需要が落ち込んでいる中、「観光自動車道の認知度拡大」「観光需要拡大」を目的として、各自動車道が連携した施策“として『スタンプラリー』を企画した。

これにより、JTRAの活動についてより一層の活性化を図り、JTRAの目的達成を目指す。

4. その他事業（外部組織との交流他）

今期は、下記団体と会員登録や協定に基づき交流をしている。

- ① 環境省国立公園オフィシャルパートナーシップ 登録企業
- ② 一般社団法人日本アセットマネジメント協会 法人正会員
- ③ 公益社団法人日本観光振興協会 法人会員